



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 株式会社昭和真空 上場取引所 東  
 コード番号 6384 URL <https://www.showashinku.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役執行役員社長（氏名） 田中 彰一  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員管理本部長（氏名） 杉山 茂紀 TEL 042-764-0392  
 半期報告書提出予定日 2025年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	3,695	42.7	129	—	151	—	91	—
2025年3月期中間期	2,590	△20.6	10	48.1	△16	—	△40	—

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 △2百万円( —%) 2025年3月期中間期 94百万円( 133.2%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	14.89	—
2025年3月期中間期	△6.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	14,688	11,166	76.0
2025年3月期	15,451	11,590	75.0

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 11,166百万円 2025年3月期 11,590百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	12.0	800	1.0	840	0.3	570	1.4	92.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	6,499,000株	2025年3月期	6,499,000株
2026年3月期中間期	323,249株	2025年3月期	333,949株
2026年3月期中間期	6,168,984株	2025年3月期中間期	6,162,784株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期の期末自己株式数には、「従業員株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産とし(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式60,600株が含まれております。また、(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12
3. 補足説明	13
(1) 生産、受注及び販売の状況	13

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年4月1日~2025年9月30日)における世界経済は、地政学的リスクの長期化や米国による通商政策やその後の政策の不確実性の高まりなどを受けて、持ち直しの動きが緩やかになりました。

わが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策による下支えなどを背景に緩やかな回復基調となりましたが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクの高まりに加え、物価上昇の継続による消費者マインドへの影響がわが国の景気を下押しするリスクとなっており、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、主要取引先である電子部品メーカーにおける在庫調整は概ね一巡しました。しかし、業界ごとの需要回復にはばらつきがあり、生産活動の回復ペースは依然として緩やかに推移しました。

こうした環境の中、当社グループは、国内外デバイスメーカーの生産状況や次世代製品開発動向の把握に努め、適時に適切な製品提案をするとともに、顧客からのサンプル作製依頼や顧客との共同開発に積極的に取り組むことで、電子部品業界を中心とした新規先からの受注を獲得しました。

生産面では、受注残及び受注予定案件を見据えた生産体制を整えるなど効率的な生産に努め、顧客への納品に注力しました。

この結果、当中間連結累計期間の業績は、受注高は31億92百万円(前年同期比30.5%減)、売上高は36億95百万円(同42.7%増)となりました。損益につきましては、経常利益1億51百万円(前年同期は16百万円の損失)、親会社株主に帰属する中間純利益91百万円(前年同期は40百万円の損失)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### ①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の受注高は23億3百万円(前年同期比33.4%減)、売上高は26億72百万円(同104.4%増)、セグメント利益は4億19百万円(同944.5%増)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

#### (水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、世界のスマートフォン出荷台数が回復基調にあることや自動車向け水晶デバイス市場が成長していることなどを受け、デバイスメーカーの設備稼働率は回復傾向となりましたが、市場全体での活発な増産設備投資には至りませんでした。

水晶デバイス装置の受注高は6億38百万円(前年同期比78.5%増)、売上高は10億58百万円(同69.5%増)となりました。

(光学装置)

光学業界では、世界のスマートフォンの出荷台数は回復基調にあるものの、デバイスメーカーの増産設備投資は市場全体では低調に推移しました。

光学装置の受注高は2億9百万円(前年同期比89.2%減)、売上高は13億31百万円(前年同期は47百万円)となりました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界においては、新規先を含め様々な用途に向けた営業を行うとともに、顧客との共同開発や顧客からのサンプル作製依頼に積極的に取り組むことを通じて引合い案件の増加に努め、新規先からの受注を獲得しました。

電子部品装置・その他装置の受注高は14億55百万円(前年同期比24.9%増)、売上高は2億82百万円(同55.6%減)となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに対する定期的な稼働状況確認による潜在ニーズの掘り起こしや顧客への生産性向上提案による装置の改造工事、保守・メンテナンス受託や消耗品販売に努めました。

サービス事業の受注高は8億88百万円(前年同期比21.3%減)、売上高は10億22百万円(同20.3%減)、セグメント利益は2億19百万円(同42.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は109億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億32百万円減少しました。これは主に現金及び預金が16億46百万円増加したものの、売掛金が22億2百万円、電子記録債権が1億61百万円減少したことによるものです。固定資産は36億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少しました。これは主に機械装置及び運搬具が77百万円増加したものの、繰延税金資産が60百万円、建設仮勘定が42百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は146億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億62百万円減少しました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は30億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億89百万円増加しました。これは主に未払法人税等が2億78百万円、電子記録債務が1億22百万円減少したものの、1年内償還予定の社債が4億50百万円、支払手形及び買掛金が2億29百万円増加したことによるものです。固定負債は4億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億27百万円減少しました。これは主に社債が4億50百万円、長期借入金が1億円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は35億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億38百万円減少しました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は111億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億23百万円減少しました。これは主に利益剰余金が3億44百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は76.0%(前連結会計年度末は75.0%)となりました。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して14億41百万円増加し、62億55百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フロー営業活動による資金獲得は22億73百万円(前年同期比69.4%増)となりました。これは主に、棚卸資産の増加1億37百万円などの支出はあったものの、売上債権の減少23億35百万円、仕入債務の増加1億15百万円などの獲得があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金支出は3億12百万円(前年同期比474.2%増)となりました。これは主に、定期預金等の預入による支出2億1百万円、有形固定資産の取得1億13百万円などの支出があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金支出は4億38百万円(前年同期比0.3%増)となりました。これは主に、配当金の支払額4億35百万円などの支出があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年5月12日付「2025年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

当社グループを取り巻く市場動向を注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,978,440	6,625,250
受取手形	9,813	3,730
電子記録債権	475,143	313,475
売掛金	3,464,223	1,261,244
商品及び製品	745	745
仕掛品	2,143,234	2,366,767
原材料及び貯蔵品	364,266	275,660
その他	290,856	147,158
貸倒引当金	△1,422	△1,325
流動資産合計	11,725,302	10,992,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	898,152	860,572
機械装置及び運搬具(純額)	139,412	216,438
土地	1,970,562	1,970,562
建設仮勘定	52,741	10,365
その他(純額)	88,687	96,726
有形固定資産合計	3,149,555	3,154,665
無形固定資産		
リース資産	1,723	1,077
その他	68,268	62,035
無形固定資産合計	69,991	63,112
投資その他の資産		
投資有価証券	173,248	212,769
繰延税金資産	241,440	181,433
退職給付に係る資産	69,899	65,301
その他	22,944	19,988
貸倒引当金	△981	△981
投資その他の資産合計	506,550	478,510
固定資産合計	3,726,096	3,696,288
資産合計	15,451,399	14,688,996

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	565,494	795,304
電子記録債務	703,547	581,503
1年内償還予定の社債	—	450,000
1年内返済予定の長期借入金	—	100,000
リース債務	7,246	7,993
未払費用	210,636	141,892
未払法人税等	303,101	24,437
前受金	675,519	695,909
賞与引当金	243,501	150,047
役員賞与引当金	56,000	28,500
製品保証引当金	69,000	75,000
工事損失引当金	32,700	7,700
その他	44,113	41,581
流動負債合計	2,910,860	3,099,869
固定負債		
社債	450,000	—
長期借入金	100,000	—
リース債務	11,333	15,283
退職給付に係る負債	258,317	274,906
株式給付引当金	55,407	53,925
長期末払金	75,235	78,535
固定負債合計	950,293	422,651
負債合計	3,861,154	3,522,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,793,805	2,798,018
利益剰余金	6,351,075	6,006,973
自己株式	△309,269	△298,978
株主資本合計	11,012,716	10,683,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,325	124,148
為替換算調整勘定	431,329	317,689
退職給付に係る調整累計額	47,873	41,517
その他の包括利益累計額合計	577,528	483,355
純資産合計	11,590,245	11,166,475
負債純資産合計	15,451,399	14,688,996

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,590,339	3,695,266
売上原価	1,730,878	2,648,924
売上総利益	859,460	1,046,342
販売費及び一般管理費	849,185	917,329
営業利益	10,274	129,012
営業外収益		
受取利息	4,117	3,169
受取配当金	4,242	4,822
受取賃貸料	1,154	1,011
補助金収入	—	9,735
為替差益	—	2,187
その他	2,276	3,439
営業外収益合計	11,791	24,366
営業外費用		
支払利息	857	838
支払保証料	772	769
為替差損	11,884	—
組合投資損失	24,703	—
その他	237	496
営業外費用合計	38,455	2,104
経常利益又は経常損失(△)	△16,389	151,274
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△16,389	151,274
法人税、住民税及び事業税	43,218	11,530
法人税等調整額	△19,446	47,860
法人税等合計	23,772	59,391
中間純利益又は中間純損失(△)	△40,161	91,882
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△40,161	91,882

## 中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	△40,161	91,882
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,262	25,823
為替換算調整勘定	181,283	△113,640
退職給付に係る調整額	△1,331	△6,355
その他の包括利益合計	134,688	△94,172
中間包括利益	94,526	△2,290
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	94,526	△2,290

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△16,389	151,274
減価償却費	86,888	119,197
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19,447	12,808
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,000	△27,500
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,597	△93,453
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△9,000	6,000
工事損失引当金の増減額(△は減少)	9,300	△25,000
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△285	2,263
受取利息及び受取配当金	△8,359	△7,992
支払利息	857	838
売上債権の増減額(△は増加)	1,422,573	2,335,381
棚卸資産の増減額(△は増加)	△840,411	△137,605
仕入債務の増減額(△は減少)	785,352	115,288
未払費用の増減額(△は減少)	△28,166	△62,951
未収消費税等の増減額(△は増加)	△71,849	129,001
未払消費税等の増減額(△は減少)	△126,925	1,783
前受金の増減額(△は減少)	49,275	20,485
その他	35,406	7,358
小計	1,297,310	2,547,178
利息及び配当金の受取額	8,361	7,711
利息の支払額	△930	△840
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	37,366	△280,219
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,342,108	2,273,829
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,200	△201,216
有形固定資産の取得による支出	△29,690	△113,547
無形固定資産の取得による支出	△23,540	△599
その他	—	2,816
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,430	△312,548
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△432,042	△435,384
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,672	△3,431
財務活動によるキャッシュ・フロー	△437,715	△438,816
現金及び現金同等物に係る換算差額	138,762	△80,777
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	988,725	1,441,687
現金及び現金同等物の期首残高	5,294,560	4,813,428
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,283,286	6,255,115

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2020年11月6日開催の取締役会決議に基づき、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度(以下、「本制度」という。)を2020年11月24日より導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。当社は、従業員に対し当社の業績等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとしします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末は87,797千円、63,300株、当中間連結会計期間末は84,052千円、60,600株です。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,307,685	1,282,654	2,590,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,249	2,929	5,179
計	1,309,935	1,285,584	2,595,519
セグメント利益	40,191	383,876	424,067

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	424,067
セグメント間取引消去	16,444
全社費用(注)	△430,237
中間連結損益計算書の営業利益	10,274

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,672,368	1,022,897	3,695,266
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,357	14	20,371
計	2,692,725	1,022,912	3,715,637
セグメント利益	419,787	219,003	638,790

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	638,790
セグメント間取引消去	12,633
全社費用(注)	△522,411
中間連結損益計算書の営業利益	129,012

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	624,661	183,173	807,834
光学	47,300	583,423	630,723
電子部品	635,723	449,361	1,085,084
その他	—	66,696	66,696
顧客との契約から生じる収益	1,307,685	1,282,654	2,590,339
外部顧客への売上高	1,307,685	1,282,654	2,590,339

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	1,058,587	151,186	1,209,774
光学	1,331,455	283,396	1,614,852
電子部品	282,325	531,789	814,114
その他	—	56,525	56,525
顧客との契約から生じる収益	2,672,368	1,022,897	3,695,266
外部顧客への売上高	2,672,368	1,022,897	3,695,266

## 3. 補足説明

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当中間連結会計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日) (千円)	前年同期比 (%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,058,587	169.5
光学装置	1,331,455	—
電子部品装置	282,325	44.4
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	2,672,368	204.4
サービス事業		
改造工事	375,957	80.2
部品販売	438,332	75.0
修理・その他	208,608	91.5
サービス事業計	1,022,897	79.8
合計	3,695,266	142.7

(注) 上記の金額は販売価格によっております。

## ②受注実績

当中間連結会計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	638,664	178.5	2,820,346	328.9
光学装置	209,157	10.8	1,082,442	27.6
電子部品装置	1,455,745	124.9	1,956,905	141.3
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	2,303,566	66.6	5,859,693	95.0
サービス事業				
改造工事	241,646	76.5	254,370	38.5
部品販売	438,332	74.8	—	—
修理・その他	208,608	91.5	—	—
サービス事業計	888,587	78.7	254,370	38.5
合計	3,192,153	69.5	6,114,063	89.5

## ③販売実績

当中間連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日) (千円)	前年同期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,058,587	169.5
光学装置	1,331,455	—
電子部品装置	282,325	44.4
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	2,672,368	204.4
サービス事業		
改造工事	375,957	80.2
部品販売	438,332	74.8
修理・その他	208,608	91.5
サービス事業計	1,022,897	79.7
合計	3,695,266	142.7

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。